

専門教育科目

講義科目

| 授業科目名  | ドラッカーに学ぶマネジメント                                     | 科目コード | 配当年次 | 単位 |
|--|--|-------|------|----|
| 担当教員   | 豊田 貞光  | HA75  | 2    | 2  |
| <b>科目の概要</b>   |  |       |      |    |
| <p>ドラッカー（Peter F. Drucker:1909-2005）が述べている「マネジメントの基本と原則」は、現代社会においても組織をマネジメントする上で、基本とすべき考え方と言える。</p> <p>本科目では、ドラッカーの著書『マネジメント：エッセンシャル版』を紐解きながら、自らの国、経済、社会、技術、市場、組織体、労働者が直面する課題は何か、そしてそれに適用していくマネジメントについて、ドラッカーが示している基本と原則とはどのような内容かなどを学習する。</p> |  |       |      |    |
| <b>科目の到達目標</b>   |  |       |      |    |
| <p>①ドラッカーのマネジメントの基本と原則に関する知識や意味を理解し実践面での課題を提示できる。</p> <p>②実際の職場などで起きるマネジメントに関する課題を解決する意欲を持ち、多くの意見を受容し問題点を指摘することができる。</p>   |  |       |      |    |
| テキスト   | 『【エッセンシャル版】マネジメント（基本と原則）』P. F. ドラッカー,ダイヤモンド社,2001年 |       |      |    |
| <b>テキストの読み方</b>  |  |       |      |    |
| <p>①テキストのPart 1に記載されているマネジメントの使命をまず理解する。</p> <p>②その後、テキストに記載されている様々なマネジメントに関する基本や原則および事例や教訓を読み、自身および周囲にいるマネジメントに係る人々と比較検討し、考察する。</p> <p>③その上で、それらを自分の経験や身近な事象に置き換えて考えてみる。</p>  |  |       |      |    |
| <b>単位修得の方法</b>   |  |       |      |    |
| <p>①レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。</p> <p>または、</p> <p>②スクーリングを受講し、合格すれば2単位を修得できる。この場合、レポート課題の提出と科目修得試験の受験は不要。</p>   |  |       |      |    |